

親子聖書日課

NO.1906 2025.4/6-12

名前

[日]会議に出ると、内容はよくわかります。御言葉を伝える人も「主の会議」に出てください、何を伝えたらよいか明らかになります。その会議とは、静聴の時です。毎日、御言葉に聴従する人は、実を結びます。人の声に振り回されてはいけません。

[月]本国の使信を相手国に正しく伝えるのが大使の役目です。預言者も全く同じです。神の国の使信を正しく相手に伝えるのです。預言者に要求されていることは、「忠実」であることです。御言葉は人を生かしますから、忠実に語りましょう。

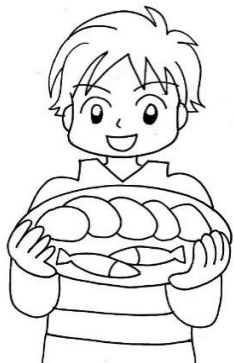
[火]「主であることを知る心」は、主を愛することから生まれます。主を愛すれば、いつでも一緒にいたいと思います。日曜だけクリスチャンでは、主を深く知ることはできません。「真心をもって」主に仕えましょう。主の素晴らしさがよくわかります。

[水]家族に何年伝道しても信じてくれないと、もうだめかと諦めたくりますが、エレミヤは違いました。彼は23年間「倦むことなく」伝道しました。伝道はマラソンと同じです。忍耐強く続けてこそ、実を結びますから、倦むことなく語り聞かせましょう。

[木]主は何度も悔い改めを迫ったのに、民は聞こうとしなかったのが、裁かれました。私達も「怒りの酒の杯」を飲むべきところでした。しかし、主イエスが代わりに飲んで下さったので、もうよろめき、恐怖にもだえることはありません。主に感謝です。

[金]主の言葉は厳しすぎると思えても、一言も省かないで語ることです。エレミヤは人を恐れなくて、勇気をもって語ったので、その真実が伝わりました。聖書は「命の書」です。どこからでも語るなら、主を信じる人が起こされることでしょう。

[土]エレミヤはくびきと綱を首につけ、身をもって預言しました。それは罪の重さと苦しさを示す「無言の説教」でした。恥ずかしがっているだけでは伝道はできません。福音のためなら何でもしましょう。但し、マナーの悪い不快な恰好では困ります。



	聖書	問題	答え
日	エレミヤ 23:9-24	彼らが主の何に立ったのなら、民に主の言葉を聞かせますか。	
月	23:25-40	主の言葉を受けた者はどのように主の言葉を語るがよいですか。	
火	24:1-10	主はどんな心を彼らに与えますか。	
水	25:1-14	エレミヤは何年の間、主の言葉を倦むことなく語り聞かせましたか。	
木	25:15-38	主の手からどんな杯を取り、全ての国々に飲ませるべきですか。	
金	26:1-24	主の命じるこれらの言葉をどのぐらい語るべきですか。	
土	27:1-22	主はくびきの横木と綱を作って、何にはめよと言われましたか。	
		感想と祈りの課題	